

中東情勢緊迫化に関する雇用への影響について

令和8年4月24日（金）

福岡県イラン情勢緊迫化による原油価格高騰・供給確保対策連絡会議

福岡労働局職業安定部長 友安 真純

中東情勢緊迫化による雇用への影響に関する福岡労働局の取組状況

福岡労働局の取組状況

<相談対応について>

・福岡労働局、各ハローワーク・付属施設において、求人事業主及び求職者からの相談を随時受付。

・雇用維持のために活用できる雇用調整助成金については、福岡助成金センターにおいて制度の問い合わせを含め、相談対応を実施中。

なお、4月17日時点で、中東情勢の緊迫化に起因する雇用調整助成金の**相談実績は延10件（休業等計画届の提出件数はなし）**。

<状況把握について>

3月以降、中東情勢の緊迫化を踏まえた管内の各産業における対応や、それに伴う雇用への影響について、労働局及び管内14か所のハローワークにおいて事業主等に対する個別のヒアリング等により情報収集を実施中（※）。

ほとんどの事業者は「現時点での影響ないが今後が不安」と回答しているが、一部事業者から「影響有」と回答。（右上参照）

※ **4月17日時点でのヒアリング件数 37件**
（上記の雇用調整助成金の相談実績を除く）

ハローワークで把握した事業主の声（抜粋）

- ・塗装に必要なシンナー他材料は値上がりしており、メーカーから値上げの通知が来たばかりである。（塗装工事業）
- ・原料輸入の輸送費高騰、輸入ルートの変更と遅延が発生。また製品製造に係る燃料費、石油由来の資材（容器など）費、輸送費が高騰、一部資材（薬品）の入手困難などが発生している。（食料品製造業）
- ・ホルムズ海峡封鎖の影響による原材料の高騰及び欠品により売り上げが20%程度ダウンしているため、雇用調整助成金を活用し従業員の解雇を防止したい。（プラスチック製品製造業）
- ・中東情勢の影響で作業員が組立工程で必ず使うゴム手袋が品薄になっている。（生産用機械器具製造業）

ハローワークで把握した求職者の動向

- ・かねてからの物価高に加え、中東情勢の影響によるガソリン高騰の不安から、パートではなくフルタイム勤務を希望する方もみられる。